

工事番号																																																																															
																(様式 - 1)																																																															
															課長					係長					検算					担当																																																	
令和 5 年度																																道路メンテナンス事業																穂高125号橋補修工事																閲覧設計書															
安曇野市穂高有明																																																																															
設 計 大 要																施 工 方 法								請 負																																																							
橋梁補修工 橋長L=5.88m 幅員w=3.40m 上部工 舗装工 表層 密粒度As20F改質 型 t=5cm A=34.0㎡ 伸縮装置設置工 (AOS工法) L=6.0m ひび割れ注入工 (低圧注入工法) L=2.1m 断面修復工 (左官工法) (主桁・橋台) V=0.081m3 仮設工 水切り設置工 L=11.7m 大型土のう n=9袋 仮設排水管 L=5.0m																施 工 期 間								100 日間																																																							
																起工予定年月日								令和 年 月 日																																																							
																竣工予定年月日								令和 年 月 日																																																							
																契約保証方法								金銭的保証																																																							
																・この資料は、入札参加資格者の迅速な見積に資するとともに、発注者が用いた積算資料を参考として提示するものであり、請負契約において何ら拘束力を生じるものではない。 ・諸経費等の条件については、原則変更協議の対象としない。																																																															

総括情報表

頁0-0002

事務所名 変更回数 適用単価区分 単価適用地区 実施設計単価表等の適用日 資材等の単価の出典	61 安曇野市 0 1 実施単価 50 1 1 中信（ 2 ） 05.08.28 建設物価・積算資料 当年 8 月号 土木コスト情報・土木施工単価 当年夏号		
	当 世 代	前 世 代	
前払率（％） 消費税率（％） 工種 施工地域区分(共通仮設) 施工地域区分(現場管理) 現場環境改善費率計上分 契約保証方法 豪雪割増 冬期補正（現管）	40 10 % 10 橋梁保全工事 03 一般交通影響有り(2)-1 03 一般交通影響有り(2)-1 03 計上なし 01 金銭的保証 02 豪雪割増無し 614		

(工事費内訳書)

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁0-0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊						
橋梁保全工事						
上部工			式			
構造物取壊し工			式			
舗装版切断			式			
	6	m				工種 第0001号表
舗装版破碎						
	34	m 2				工種 第0002号表
掘削						
	2	m 3				工種 第0003号表
殻運搬 (As殻)						
	3	m 3				工種 第0004号表
土砂等運搬						
	2	m 3				工種 第0005号表

(工事費内訳書)

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁0-0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費 (As殻)					
	6	t			工種 第0006号表
残土等処分					
	2	m 3			工種 第0007号表
橋面防水工					
		式			
橋面防水工					
	18	m			工種 第0008号表
床版水抜きパイプ設置					
	2	箇所			工種 第0009号表
橋面排水管敷設					
	1.4	m			工種 第0010号表
舗装工					
		式			
調整モルタル					
	18	m 2			工種 第0011号表
表層 (高さ調整)					
	18	m 2			工種 第0012号表

(工事費内訳書)

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁0-0005

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層					
	34	m 2			工種 第0013号表
上層路盤（取付け部）					
	15	m 2			工種 第0014号表
伸縮装置工					
		式			
伸縮装置設置工					
	1	式			工種 第0015号表
ひび割れ補修工					
		式			
低圧注入工法					
		構造物			
ひび割れ補修工（低圧注入工法） 1 構造物当り補修延べ延長 2 5 m未満					
	1	構造物			施工 第0 -0013号表
断面修復工					
		式			
断面修復（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり）					
		構造物			

(工事費内訳書)

*** 本工事費 ***

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
断面修復工（左官工法） 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり 1 構造物当り修復延べ体積 0 . 0 7 m 3					施工 第0 -0014号表
	1	構造物			
断面修復（鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし）					
		構造物			
断面修復工（左官工法） 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし 1 構造物当り修復延べ体積 0 . 0 1 m 3					施工 第0 -0015号表
	1	構造物			
殻運搬（Co殻）					工種 第0016号表
	0.06	m 3			
処分費（Co殻）					工種 第0017号表
	0.2	t			
橋梁付属物工					
		式			
水切り設置工					工種 第0018号表
	11.7	m			
仮設工					
		式			
仮締切工					
		式			

(工事費内訳書)

*** 本工事費 ***

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土のう積						
	9	袋				工種 第0019号表
土のう積						
	9	袋				工種 第0020号表
仮設排水管						
	5	m				工種 第0021号表
土砂等運搬						
	8	m ³				工種 第0022号表
残土等処分						
	8	m ³				工種 第0023号表
** 直接工事費 **						
** 共通仮設費率計算額 **						
補正無の率 0.2732						
			補正後の率 0.3825			
** 共通仮設費計 **						

(工事費内訳書)

*** 本工事費 ***

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 純工事費 **						
** 現場管理費 ** 補正無の率 0.6497						
			補正後の率	0.7869		
** 工事原価 **						
* 一般管理費等 * 補正無の率 0.2328						
			前払率補正	1.0000 契約保証補正 0.0004		
** 工事価格計 **						
** 消費税等相当額計 ** 率 0.1000						
** 工事費計 **						
(参考) 予定 価格に占める 法定福利費概 算額 率 0.0390						

鋪裝版切斷

工種明細表

工種 第0001号表

頁0-0009

[illegible]

鋪裝版破碎

工種明細表

工種 第0002号表

頁0-0010

[illegible]

掘削

工種明細表

工種 第0003号表

頁0-0011

[illegible]

殼運搬 (As殼)

工種明細表

工種 第0004号表

頁0-0012

[illegible]

土砂等運搬

工種明細表

工種 第0005号表

頁0-0013

[illegible]

処分費 (As殻)

工種明細表

工種 第0006号表

頁0-0014

[illegible]

工 種 明 細 表

工種 第0007号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 処分費等 *						
残土等処分						施工 第0 -0007号表
		1	m 3			
* * * 単位当り * * *						
		1	m 3			

工種明細表

工種 第0008号表

頁0-0016

[illegible]

工種明細表

工種 第0010号表

頁0-0018

[illegible]

調整モルタル

工種明細表

工種 第0011号表

頁0-0019

[illegible]

表層（高さ調整）

工種明細表

工種 第0012号表

頁0-0020

[illegible]

表層

工種明細表

工種 第0013号表

頁0-0021

[illegible]

上層路盤（取付け部）

工種明細表

工種 第0014号表

頁0-0022

[illegible]

伸縮装置設置工

工種明細表

工種 第0015号表

頁0-0023

[illegible]

殼運搬 (Co殼)

工種明細表

工種 第0016号表

頁0-0024

[illegible]

処分費 (Co殻)

工種明細表

工種 第0017号表

頁0-0025

[illegible]

水切り設置工

工種明細表

工種 第0018号表

頁0-0026

[illegible]

土のう積

工種明細表

工種 第0019号表

頁0-0027

[illegible]

土のう積

工種明細表

工種 第0020号表

頁0-0028

[illegible]

工種明細表

工種 第0021号表

頁0-0029

[illegible]

土砂等運搬

工種明細表

工種 第0022号表

頁0-0030

[illegible]

残土等処分

工 種 明 細 表

工種 第0023号表

工 種 ・ 施 工 名 称 など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
* 処分費等 *						
残土等処分						施工 第0 -0007号表
		1	m 3			
* * * 単位当り * * *						
		1	m 3			

施 工 内 訳 表

頁0-0032

舗装版切断
アスファルト舗装版

施工 第0 -0001号表

機械構成比： 6.20% 労務構成比： 15cm以下 54.85% 材料構成比： 38.95% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深 2 0 c m 級 B 径 5 6 c m	4.19%	供用日		コンクリートカッタ [バキューム式・湿式]		
特殊作業員	19.02%	人		特殊作業員		
土木一般世話役	9.77%	人		土木一般世話役		
普通作業員	8.28%	人		普通作業員		
ブレード (コンクリートカッタ) 径 2 2 インチ (5 6 c m)	36.13%	枚		ブレード (コンクリートカッタ) 径 2 2 インチ (5 6 c m)		
ガソリン レギュラー スタンド	1.91%	L		ガソリン レギュラー スタンド		

施 工 内 訳 表

舗装版切断
アスファルト舗装版

施工 第0 -0001号表

1

m 当り

機械構成比： 6.20% 労務構成比： 54.85% 材料構成比： 38.95% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
舗装版種別：アスファルト舗装版 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				アスファルト舗装版厚：15cm以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0034

舗装版破碎
アスファルト舗装版

施工 第0 -0002号表

機械構成比： 9.54% 労務構成比： 82.52% 材料構成比： 7.94% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ [クローラ型] 賃料 排ガス 3 次 山積 0 . 4 5 m 3	9.54%	日		バックホウ [クローラ型] 賃料		
土木一般世話役	29.36%	人		土木一般世話役		
運転手 (特殊)	28.31%	人		運転手 (特殊)		
普通作業員	24.85%	人		普通作業員		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	7.94%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		

施 工 内 訳 表

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比：

9.54%

労務構成比：

障害等なし

82.52%

材料構成比：

7.94%

市場単価構成比：

施工 第0 -0002号表

0.00%

1
標準単価：

m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構 成 比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単 価 (東京地区)	備 考
*** 単位当り ***						
舗装版種別：アスファルト舗装版 騒音振動対策：騒音振動対策不要 積込作業の有無：積込作業あり				障害等の有無：障害等なし 舗装版厚：15cm以下 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0036

掘削
土砂

施工 第0 -0003号表

機械構成比： 29.89% 労務構成比： 59.07% 材料構成比： 11.04% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次 山積0.28m ³	29.89%	供用日		バックホウ（クローラ型）[標準型] 排ガス2次		
運転手（特殊）	59.07%	人		運転手（特殊）		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	11.04%	L		軽油 1.2号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土質：土砂 施工数量：小規模(標準)				施工方法：上記以外(小規模) 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0037

殻運搬

施工 第0 -0004号表

舗装版破碎 DID区間なし 7.5km以下

機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要)

1

m 3 当り

機械構成比： 47.26% 労務構成比：

37.92%

材料構成比： 14.82%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 1 0 t 積級	47.26%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
運転手 (一般)	37.92%	人		運転手 (一般)		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	14.82%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
* * * 単位当り * * *						
殻発生作業：舗装版破碎 DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込(対策不要厚15cm超)又は(対策必要) 運搬距離：7.5km以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0038

土砂等運搬

小規模 DID区間なし 7.5km以下

バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3)

施工 第0 -0005号表

1

m3 当り

機械構成比：

25.82%

労務構成比：

62.21%

材料構成比：

11.97%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	25.82%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
運転手 (一般)	62.21%	人		運転手 (一般)		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	11.97%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
土砂等発生現場：小規模 土質：土砂(岩塊・玉石混り土含む) 運搬距離：7.5km以下				積込機種・規格：バックホウ 山積0.28m3(平積0.2m3) DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

処分費

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0006号表

100 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	100.000	t			
*** 合 計 ***	100	t			
*** 単位当り ***	1	t			
処分費（円 / t）：					

残土等処分

頁0-0040

施工 第0 -0007号表

m 3 当り

機械構成比： 0.00% 勞務構成比： 0.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0041

コンクリート削孔（電動式コアボーリング）

施工 第0 -0008号表

43mmを超え54mm以下

500mm以下

1

孔 当り

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 79.56%

材料構成比： 20.44%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	35.78%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	34.63%	人		特殊作業員		
ダイヤモンドビット 6 4 . 7 mm スタンダード	20.44%	個		ダイヤモンドビット 6 4 . 7 mm		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
アソカ-材径：43mmを超え54mm以下				削孔深さ：500mm以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0042

コンクリート削孔（電動式コアボーリング）

施工 第0 -0009号表

80mmを超え100mm以下

500mm以下

1

孔 当り

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 72.51%

材料構成比： 27.49%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	32.60%	人		土木一般世話役		
特殊作業員	31.57%	人		特殊作業員		
ダイヤモンドビット 1 1 0 mm スタンダード	27.49%	個		ダイヤモンドビット 1 1 0 mm		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
アノカ-材径：80mmを超え100mm以下				削孔深さ：500mm以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0043

表層（車道・路肩部）

1.4m以上3.0m以下

平均仕上り厚 2 5 mm

施工 第0 -0010号表

1

m 2 当り

機械構成比： 1.96%

労務構成比： 15.47%

材料構成比： 82.57%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料 舗装幅 1 . 4 ~ 3 m	1.35%	日		アスファルトフィニッシャ [ホイール] 賃料		
振動ローラ [搭乗式・コンバインド型] 賃料 質量 3 ~ 4 t	0.27%	日		振動ローラ [搭乗式・コンバインド型] 賃料		
タイヤローラ賃料 質量 3 ~ 4 t	0.25%	日		タイヤローラ賃料		
普通作業員	5.66%	人		普通作業員		
特殊作業員	3.88%	人		特殊作業員		
運転手（特殊）	3.87%	人		運転手（特殊）		

施 工 内 訳 表

頁0-0044

表層（車道・路肩部）

1.4m以上3.0m以下

平均仕上り厚 2 5 mm

施工 第0 -0010号表

1

m 2 当り

機械構成比： 1.96%

労務構成比： 15.47%

材料構成比： 82.57%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	1.33%	人		土木一般世話役		
- 3 改質アスファルト混合物 密粒(20F) ポリマー改質 型	82.27%	t		アスファルト混合物 密粒度 (2 0)		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	0.29%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
平均幅員：1.4m以上3.0m以下 標準締固め後密度：2.35t/m3 材料：密粒(20F) ポリマー改質 型 アスファルト混合物夜間割増：夜間割増なし				1層当り平均仕上り厚(mm)：25 瀝青材料種類：瀝青材料なし アスファルト混合物小型車割増：小型車割増なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ		

施 工 内 訳 表

頁0-0045

表層（車道・路肩部）

1.4m以上3.0m以下

平均仕上り厚 5 0 mm

施工 第0 -0011号表

1 m 2 当り

機械構成比：2.03%		労務構成比：16.01%		材料構成比：81.96%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：	
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 位	単 価		代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考
アスファルトフィニッシャ〔ホイール〕賃料 舗装幅 1 . 4 ~ 3 m		1.30%	日			アスファルトフィニッシャ〔ホイール〕賃料			
振動ローラ〔搭乗式・コンバインド型〕賃料 質量 3 ~ 4 t		0.26%	日			振動ローラ〔搭乗式・コンバインド型〕賃料			
タイヤローラ賃料 質量 3 ~ 4 t		0.24%	日			タイヤローラ賃料			
普通作業員		5.44%	人			普通作業員			
特殊作業員		3.73%	人			特殊作業員			
運転手（特殊）		3.72%	人			運転手（特殊）			

施 工 内 訳 表

頁0-0046

表層（車道・路肩部）

1.4m以上3.0m以下

平均仕上り厚 5 0 mm

施工 第0 -0011号表

1

m 2 当り

機械構成比： 2.03%

労務構成比：

16.01%

材料構成比：

81.96%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
土木一般世話役	1.28%	人		土木一般世話役		
- 3 改質アスファルト混合物 密粒(20F) ポリマー改質 型	79.08%	t		アスファルト混合物 密粒度 (2 0)		
アスファルト乳剤 P K - 4 タックコート用	2.57%	L		アスファルト乳剤 P K - 4 タックコート用		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	0.28%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						

施工内訳表

頁0-0047

表層（車道・路肩部）

1.4m以上3.0m以下

平均仕上り厚 50 mm

機械構成比： 2.03%

勞務構成比：

16.01%

材料構成比： 81.96%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

m 2 当り

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0048

上層路盤（歩道部）

全仕上り厚 30 mm

機械構成比： 5.59%

労務構成比：

1層施工

65.31%

材料構成比：

29.10%

市場単価構成比：

0.00%

施工 第0 -0012号表

標準単価：

1

m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
小型バックホウ〔クローラ型〕賃料 排ガス2次 山積0.11m ³	2.89%	日		小型バックホウ〔クローラ型〕賃料		
振動ローラ〔搭乗式・コンバインド型〕賃料 排ガス1次 質量3～4t	2.54%	日		振動ローラ〔搭乗式・コンバインド型〕賃料		
普通作業員	27.38%	人		普通作業員		
運転手（特殊）	23.22%	人		運転手（特殊）		
特殊作業員	12.81%	人		特殊作業員		
粒調碎石 25mm以下	27.32%	m ³		再生粒度調整碎石 RM - 30		

施 工 内 訳 表

頁0-0049

上層路盤（歩道部）

全仕上り厚 3 0 mm

機械構成比： 5.59%

労務構成比：

1層施工

65.31%

材料構成比：

29.10%

市場単価構成比：

施工 第0 -0012号表

標準単価：

1 m 2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
軽油 小型口 - リ - パトロール給油	1.73%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
全仕上り厚(mm)：30 材料：粒度調整碎石 M - 2 5				施工区分：1層施工		

施 工 内 訳 表

頁0-0050

ひび割れ補修工（低圧注入工法）
1 構造物当り補修延べ延長2.5m未満

施工 第0 -0013号表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
注入材	0.009	k g			
シール材	0.288	k g			
低圧注入器具	10.000	個			
諸雑費	6.000	%			
*** 単位当り ***	1	構造物			
1 構造物当り補修延べ延長区分：1 構造物当り補修延べ延長2.5m未満 1 構造物当りのシール材設計量（k g）：0.21 注入材単価（円 / k g）： 低圧注入器具単価（円 / 個）：				1 構造物当りの注入材使用量（k g）：0.009 1 構造物当りの低圧注入器具使用量（個）：10 シール材単価（円 / k g）：	

施 工 内 訳 表

頁0-0051

断面修復工（左官工法）

鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり

1 構造物当り修復延べ体積 0.07 m³

施工 第0 -0014号表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.300	人			
特殊作業員	3.800	人			
普通作業員	2.500	人			
断面修復材	0.083	m ³			
諸雑費	11.000	%			
*** 単位当り ***	1	構造物			
鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無：鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり 1 構造物当り修復延べ体積 V (m ³) : 0.07			1 構造物当り修復延べ体積区分：1 構造物当り修復延べ体積 0.1 m ³ 未満 断面修復材単価 (円 / m ³) :		

施 工 内 訳 表

頁0-0052

断面修復工（左官工法）
鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし

1 構造物当り修復延べ体積 0 . 0 1 m 3

施工 第0 -0015号表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.900	人			
特殊作業員	3.200	人			
普通作業員	2.100	人			
断面修復材	0.012	m 3			
諸雑費	9.000	%			
*** 単位当り ***	1	構造物			
鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無：鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし 1 構造物当り修復延べ体積 V (m 3) : 0.01			1 構造物当り修復延べ体積区分：1 構造物当り修復延べ体積 0 . 1 m 3 未満 断面修復材単価（円 / m 3 ）：		

施 工 内 訳 表

頁0-0053

殻運搬

施工 第0 -0016号表

ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし

機械積込 DID区間なし 8.0km以下

1

m 3 当り

機械構成比： 43.25% 労務構成比：

42.18%

材料構成比： 14.57%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 位	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 1 0 t 積級	43.25%	供用日		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		
運転手 (一般)	42.18%	人		運転手 (一般)		
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	14.57%	L		軽油 1 . 2 号 パトロール給油		
積算単価		式		積算単価		
*** 単位当り ***						
殻発生作業：ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし DID区間の有無：DID区間なし 豪雪割増：豪雪割増 工種条件と同じ				積込工法区分：機械積込 運搬距離：8.0km以下		

処分費

施 工 内 訳 表

施工 第0 -0017号表

頁0-0054

100 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	100.000	t			
*** 合 計 ***	100	t			
*** 単位当り ***	1	t			
処分費（円 / t）：					

施 工 内 訳 表

頁0-0055

大型土のう製作・設置
作業半径 6 m以下

施工 第0 -0018号表

10

袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.278	人			
特殊作業員	0.278	人			
普通作業員	0.278	人			
大型土のう 1 1 0 × 1 0 8 cm	10.000	袋			
バックホウ運転 (機 - 2 8) クローラ型・クレーン付 山積 0 . 8 m 3 超低騒音 (排出ガス対策型 3 次基準)	0.278	日			施工 第0-0019号表
諸雑費	4.000	%			
*** 合 計 ***	10	袋			
*** 単位当り ***	1	袋			
作業区分：製作・設置 袋詰土区分 (A = 1 , 2 時選択) : 流用土			作業半径：作業半径 6 m以下 大型土のう単価 (円 / 袋) A = 1 , 2 時入力：		

施 工 内 訳 表

頁0-0056

バックホウ運転（機 - 2 8）

クローラ型・クレーン付 山積0.8m³ 超低騒音（排出ガス対策型3次基準）

施工 第0 -0019号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ〔クローラ型・クレーン付〕賃料 超低騒音・排ガス3次 山積0.8m ³	1.390	供用日			
運転手（特殊）	1.000	人			
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	98.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			
規格：クローラ型・クレーン付 山積0.8m ³ バックホウ（供用日／日）：1.39 軽油（L／日）：98			排出ガス対策型区分：超低騒音（排出ガス対策型3次基準） 特殊運転手（人／日）：1		

施 工 内 訳 表

頁0-0057

大型土のう撤去
作業半径 6 m以下

施工 第0 -0020号表

10 袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.069	人			
特殊作業員	0.069	人			
バックホウ運転 (機 - 2 8) クローラ型・クレーン付 山積0 . 8 m 3 超低騒音 (排出ガス対策型 3 次基準)	0.069	日			施工 第0-0021号表
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	10	袋			
*** 単位当り ***	1	袋			
作業区分：撤去			作業半径：作業半径 6 m以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0058

バックホウ運転（機 - 2 8）

クローラ型・クレーン付 山積0.8m³ 超低騒音（排出ガス対策型3次基準）

施工 第0 -0021号表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バックホウ〔クローラ型・クレーン付〕賃料 超低騒音・排ガス3次 山積0.8m ³	1.260	供用日			
運転手（特殊）	1.000	人			
軽油 小型ロ - リ - パトロール給油	74.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	日			
規格：クローラ型・クレーン付 山積0.8m ³ バックホウ（供用日／日）：1.26 軽油（L／日）：74			排出ガス対策型区分：超低騒音（排出ガス対策型3次基準） 特殊運転手（人／日）：1		

排水管（材料費）

頁0-0059

施工 第0 -0022号表

m 当り

機械構成比： 0.00% 勞務構成比： 0.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

[illegible]

位置図



1:5,000

0 90 180 360 m

特 記 事 項

工事名：令和5年度 道路メンテナンス事業 穂高 125 号橋補修工事

箇所名：安曇野市 穂高有明

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

1 工事内容

工事概要：金抜き設計書のとおりに。

2 工期関係

工期は、契約日から 100 日間 とする。

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含まれている。

3 工程関係

本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

4 残土・廃棄物関係

(1) 本工事の施工において生じる産業廃棄物及び発生土の処分については、下表の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。

(2) 建設発生土 【参考】

受入場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項
共和興業(株)	—	7.1 km	

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

(3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法） 【参考】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等					
アスファルト塊		再利用	処理工場名	共和リテック(株)		距離	7.3	km
			数 量	6 t		・	m ³	
コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名	共和リテック(株)		距離	7.3	km
			数 量	0.2 t		・	m ³	
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名			距離		km
			数 量	t		・	m ³	
	二次 製品	再利用	処理工場名			距離		km
			数 量	t		・	m ³	
建設発生木材			処理工場名			距離		km
			数 量	t		・	m ³	

(4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針） 【参考】

種 別	処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等	
木くず (抜根・伐採材)	再利用	処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m ³
汚 泥		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m ³
その他（金属クズ他）		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m ³

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記（３）、（４）に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

(5) 建設副産物の運搬・処理について

ア 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 運搬及び処分を業とする許可証を添付すること。

ウ 下請業者が建設副産物を運搬・処分を行う場合、下請契約とは別に運搬・処分に係る委託契約を締結すること。

エ マニフェストにより適切に運搬・処理されているか確認を行うとともに、マニフェスト伝票（Ａ、Ｂ２、Ｄ、Ｅ表）の提示すること。写しをしゅん工書類に添付すること。（写しの添付については、初回、中間、最終を基本とする。少量の場合には、監督員と事前打ち合わせ願います。）

併せて、再資源化施設、最終処分場との関係を示す写真をしゅん工書類に添付すること。

オ 受注者が施工計画書に記載若しくは整備すべき事項

・記載事項

※該当するものを選択する

処理方法※	1 再資源化	2 破碎処理	3 焼却処理	4 埋立処分場	5 その他
処 分 先 (業 者)	業 者 名		許可番号		
	住 所				
運 搬 委 託 先 (委託の場合)	業 者 名		許可番号		
	住 所				
そ の 他	資源化の方法など				

・添付書類

ア 処理先の許可書の写し及び（収集運搬を委託する場合）収集運搬業者の許可書の写し

イ 受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し

ウ 処理業者の所在地及び計画運搬ルート

5 その他

(1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路 確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通 学路に係る周知。 各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路 などの確認。各種 行事調整。	上記と同様	上記と同様

安曇野市文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期間、迂回路などの説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、要求内容が無理難題と判断される場合には、断ることも必要である。また、要求内容については監督員へ報告すること。特に工事金額に係る内容は協議を交わすこと。)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地所有者又は管理者及び工事影響範囲の利害関係者など	農地については、工事の進捗及び営農上支障になることの調整。その他利害関係者との調整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所など	駐車場、案内看板などの調整。	上記と同様	上記と同様
N T T	電柱、架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
あづみ野テレビ	架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様
関係官公庁	本工事事に係ること	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応すること。	上記と同様	苦情については、即対応のこと。要望については、監督員と協議のうえ対応すること。

(2) 個別事項

- 一 工事着手日の2週間前には、現場周辺の住民、区長、町会長、沿線地権者、耕作者へ工事
通知文を提出すること。また、必要があれば関係機関は周知、協議を行うこと。
通知文は協議書で提出し、監督員の確認後に周知すること。
- 二 本工事は車両通行止めでの作業を想定しています。歩行者等の通行の確保をお願いします。
- 三 品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- 四 不可視部分の施工にあたっては、監督員の立会い確認を求めること。
- 五 創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を事前に報告すること。
- 六 本工事は工事成績評定の対象工事です。
- 七 その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議願います。

穂高125号橋 数量総括表

工種	種別	細別	単位	数量	設計値	備考
1. 橋面工						
(1) 構造物取壊し工						
1) 舗装版切断	既設As舗装		m	6.0	6	
2) 舗装版破碎	既設As舗装	t=81mm(平均)	m ²	34.0	34	
3) 掘削	碎石	t=100mm	m ³	1.8	2	
4) 殻運搬	アスファルト殻	運搬距離7.3km	m ³	2.7	3	
	碎石	運搬距離7.1km	m ³	1.8	2	
5) 殻処分	アスファルト殻	2.30t/m3	t	6.2	6	
	碎石		m ³	1.8	2	
(2) 橋面防水工						
1) 導水パイプ	車道部 φ18mm		m	17.7	18	
2) 成型目地材	b=50mm t=5mm		m	17.7	18	
3) 床版水抜きパイプ	既設橋取付タイプ φ50mm L=140mm		箇所	2	2	
4) コンクリート削孔	φ100mm L=20mm		孔	2	2	
5) フレキシブルチューブ	SUS304 φ20(ナット・パッキン付)		m	1.4	1.4	
(3) 舗装工						
1) 調整モルタル	スラブガード		m ²	17.5	18	
2) 橋面舗装	高さ調整 密粒度As20F改質Ⅱ型	t=25mm(平均)	m ²	17.5	18	
	密粒度As20F改質Ⅱ型 取付け部	t=50mm	m ²	34.0	34	
3) 上層路盤	粒度調整碎石M-25	t=30mm	m ²	15.0	15	
2. 伸縮装置工						
(1) 伸縮装置設置工						
1) 伸縮装置	AOS工法		m	6.0	6	1式:6m
3. ひび割れ補修工						
(1) ひび割れ注入工						
1) ひび割れ注入	幅0.2mm～1.0mm未満	エポキシ樹脂	m	2.1	2	
4. 断面修復工						
(1) 断面修復工						
1) 左官工法	鉄筋ケレン・防錆処理を含む	ポリマーセメント	m ³	0.072	0.07	
	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない	ポリマーセメント	m ³	0.009	0.01	
(2) コンクリート撤去工						
1) 殻運搬	無筋コンクリート殻	運搬距離7.3km	m ³	0.062	0.06	
2) 殻処分	無筋コンクリート殻	2.35t/m3	t	0.15	0.2	
5. 水切り設置工						
(1) 水切り設置工						
1) 水切り設置	FRP水切りL型		m	11.7	11.7	
6. 仮設工						
(1) 仮締切工						
1) 1t土のう	角型 0.86×0.86×1.20		個	9	9	
2) 仮設排水管	ポリエチレン管 φ300		m	5.0	5	
3) 殻運搬	残土		m ³	8.0	8	
4) 殻処分	残土		m ³	8.0	8	

数量合算表

種別	規格	細別	単位	数量	適用
ひび割れ注入工	地覆補修工		m	0.20	
	主桁・床版・横桁補修工-1		m	1.90	
	合計		m	2.1	
左官工法(鉄筋ケレン・防錆処理を含む)	主桁・床版・横桁補修工-1		m3	0.068	
	主桁・床版・横桁補修工-2		m3	0.004	
	合計		m3	0.072	
撤去工（運搬）(無筋Co)	主桁・床版・横桁補修工-1		m3	0.049	
	主桁・床版・横桁補修工-2		m3	0.004	
	下部工補修工		m3	0.009	
	合計		m3	0.062	
撤去工（処理）(無筋Co)	主桁・床版・横桁補修工-1		t	0.115	
	主桁・床版・横桁補修工-2		t	0.009	
	下部工補修工		t	0.021	
	合計		t	0.15	

穂高125号橋 補修数量計算書

1. 橋面工 . . . 橋梁補修図その1 (橋面) より

(1) 構造物取壊し工

- 1) 舗装版切断 アスファルト舗装

$$L = 3.00 \times 2 = 6.00 \quad \underline{\underline{6.0 \text{ m}}}$$

- 2) 舗装版破碎 アスファルト舗装 $t=8.1\text{cm}$ (平均)

$$A = 3.00 \times (6.34 \text{ (パラペット天端含む)} + 3.00 \text{ (有明山神社側擦付長)} + 2.00 \text{ (山麓線側擦付長)}) \\ = 34.02 \quad \underline{\underline{34.0 \text{ m}^2}}$$

- 3) 掘削 砕石 $t=10\text{cm}$

$$V = 3.00 \times 5.84 \times 0.10 = 1.75 \quad \underline{\underline{1.8 \text{ m}^3}}$$

- 4) アスファルト殻運搬

$$V = 34.0 \times 0.08 = 2.72 \quad \underline{\underline{2.7 \text{ m}^3}}$$

- 5) 砕石運搬

$$V = 3.00 \times 5.84 \times 0.10 = 1.75 \quad \underline{\underline{1.8 \text{ m}^3}}$$

- 6) アスファルト殻処分

$$2.70 \times 2.30 = 6.21 \quad \underline{\underline{6.2 \text{ t}}}$$

- 7) 砕石処分

$$V = 3.00 \times 5.84 \times 0.10 = 1.75 \quad \underline{\underline{1.8 \text{ m}^3}}$$

(2) 橋面防水工 (塗膜系防水材)

- 1) 導水パイプ $\phi 18$

$$N = 5.84 \times 2 + 3.00 \times 2 = 17.68 \quad \underline{\underline{17.7 \text{ m}}}$$

- 2) 成形目地材 $b=50$ $t=5$

$$L = 5.84 \times 2 + 3.00 \times 2 = 17.68 \quad \underline{\underline{17.7 \text{ m}}}$$

- 3) 床版水抜きパイプ (既設橋取付タイプ)

$$N = \text{橋梁補修図その1 (橋面) より} \quad \underline{\underline{2 \text{ 個}}}$$

- 4) コンクリート削孔 $\phi 50$ $L=80\text{mm}$

$$N = \text{橋梁補修図その1 (橋面) より} \quad \underline{\underline{2 \text{ 個}}}$$

- 5) フレキシブルチューブ SUS304 $\phi 20$ (ナット-パッキン付)

$$L = 0.70 \times 2 = 1.40 \quad \underline{\underline{1.4 \text{ m}}}$$

(3) 舗装工

- 1) 調整モルタル スラブガード

$$A = 3.00 \times 5.84 = 17.52 \quad \underline{\underline{17.5 \text{ m}^2}}$$

- 2) 橋面舗装 (高さ調整) 密粒度As20F改質Ⅱ型 $t=2.5\text{cm}$ (平均)

$$A = 3.00 \times 5.84 = 17.52 \quad \underline{\underline{17.5 \text{ m}^2}}$$

- 3) 橋面舗装 密粒度As20F改質Ⅱ型 $t=5.0\text{cm}$

$$A = 3.00 \times (6.34 + 3.00 + 2.00) = 34.02 \quad \underline{\underline{34.0 \text{ m}^2}}$$

- 4) 不陸整正 (取付け部) 粒度調整砕石M-25 $t=3.0\text{cm}$

$$A = 3.00 \times (3.00 + 2.00) = 15.00 \quad \underline{\underline{15.0 \text{ m}^2}}$$

2. 伸縮装置工・・・橋梁補修図その2（伸縮装置）より

(1) 伸縮装置設置工

1) 伸縮装置 橋梁補修図その2（伸縮装置）より

$$L = 3.00 + 3.00 = 6.00$$

$$\underline{6.0 \text{ m}}$$

3. 地覆補修工・・・橋梁補修図その3（地覆側面）より

(1) ひび割れ補修工

1) ひび割れ注入工（低圧注入工法） エポキシ樹脂（第3種適合品）

$$L = 0$$

$$\underline{0.2 \text{ m}}$$

4. 主桁・床版・横桁補修工-1・・・橋面補修図その4（橋面下）より

(1) 断面修復工

1) 左官工法（鉄筋ケレン・防錆処理を含む） ポリマーセメント

$$V = 0.178 \times 0.03 + 0.245 \times 0.06 + 0.962 \times 0.05 = 0.0681$$

$$\underline{0.068 \text{ m}^3}$$

(2) ひび割れ補修工

1) ひび割れ注入工（低圧注入工法） エポキシ樹脂（第3種適合品）

$$L = 0.1 + 0.4 + 0.4 + 0.5 + 0.5$$

$$\underline{1.9 \text{ m}}$$

(3) コンクリート撤去工

1) 無筋コンクリート殻運搬

$$V = 0.178 \times 0.03 + 0.245 \times 0.06 + 0.962 \times 0.03 = 0.0489$$

$$\underline{0.049 \text{ m}^3}$$

2) 無筋コンクリート殻処分

$$0.049 \times 2.35 = 0.1152$$

$$\underline{0.115 \text{ t}}$$

5. 主桁・床版・横桁補修工-2・・・橋梁補修図その5（主桁・横桁）より

(1) 断面修復工

1) 左官工法（鉄筋ケレン・防錆処理を含む） ポリマーセメント

$$V = 0.145 \times 0.03 = 0.0044$$

$$\underline{0.004 \text{ m}^3}$$

(2) コンクリート撤去工

1) 無筋コンクリート殻運搬

$$V = 0.145 \times 0.03 = 0.0044$$

$$\underline{0.004 \text{ m}^3}$$

2) 無筋コンクリート殻処分

$$0.004 \times 2.35 = 0.0094$$

$$\underline{0.009 \text{ t}}$$

6. 主桁・床版・横桁補修工-3・・・橋梁補修図その6（床版張出部）より

(1) 水切り設置工

1) 水切り設置 FRP水切りL型（L=1.5m/本）

$$N = 5.84 \times 2 = 11.68$$

$$\underline{11.7 \text{ m}}$$

7. 下部工補修工 . . . 橋梁補修図その7（橋台）より

(1) 断面修復工

- 1) 左官工法 （鉄筋ケレン・防錆処理を含まない） ポリマーセメント

$$V = 0.072 \times 0.05 + 0.03 \times 0.08 + 0.03 \times 0.09 = 0.0087$$

$$\underline{0.009 \text{ m}^3}$$

(2) コンクリート撤去工

- 1) 無筋コンクリート殻運搬

$$V = 0.072 \times 0.05 + 0.03 \times 0.08 + 0.03 \times 0.09 = 0.0087$$

$$\underline{0.009 \text{ m}^3}$$

- 2) 無筋コンクリート殻処分

$$0.009 \times 2.35 = 0.0212$$

$$\underline{0.021 \text{ t}}$$

8. 仮設工 . . . 仮設計画図より

(1) 仮締切工

- 1) 大型土のう

$$N = \text{仮設計画図より}$$

$$\underline{9 \text{ 個}}$$

- 2) 仮設排水管 ポリエチレン管 $\phi 300$

$$L = \text{仮設計画図より}$$

$$\underline{5 \text{ m}}$$

- 3) 残土運搬

$$V = 0.86 \times 0.86 \times 1.20 \times 9 = 7.99$$

$$\underline{8.0 \text{ m}^3}$$

- 4) 残土処分

$$V = 0.86 \times 0.86 \times 1.20 \times 9 = 7.99$$

$$\underline{8.0 \text{ m}^3}$$

ひび割れ補修工(低圧注入工法)

数 量 表

材料：エポキシ樹脂 (第3種適合品)

エポキシ樹脂比重＝ 1.18 とする

注入材ロス率＝ 1.4 とする

部位	NO	ひび割れ数量				V×比重 重量W(g)	注入器の数 @250	注入器1本当り 使用量(g) (ロス率含む)	注入材使用量(g) (ロス率含む)	
		幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ D(mm)	容量 V(ml)				エポキシ樹脂	—
地覆	③- 1	0.85	200	10	1.70	2.01	1	2.82	2.82	
橋面下	④- 1	0.20	100	10	0.20	0.24	1	0.34	0.34	
〃	④- 2	0.20	400	10	0.80	0.94	2	0.66	1.32	
〃	④- 3	0.20	400	10	0.80	0.94	2	0.66	1.32	
〃	④- 4	0.20	500	10	1.00	1.18	2	0.83	1.66	
〃	④- 5	0.20	500	10	1.00	1.18	2	0.83	1.66	
小計			2.1			6.49	10		9.12	

集 計 表

部材	延べ施工量 (m)	注入材使用量(kg)		シール材 (kg)	低圧注入器具 (個)
		エポキシ樹脂	—		
地覆, 橋面下	2.10	0.0091		0.214	10
合計	2.10	0.009	—	0.214	10

※ シール材： W(kg) = 幅30(mm) × 厚2(mm) × 施工延長L(m) × 比重1.7(g/cm³)

資材単価等について

令和５年度 道路メンテナンス事業 穂高125号橋補修工事に係る工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和５年度実施設計単価表」や積算資料（財団法人経済調査会）及び建設物価（財団法人建設物価調査会）に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価

(田)

[illegible]

補修工一般図 S=1:20

穂高125号橋

路面補修

- ・舗装打換工
- ・伸縮装置設置工

側面図

地覆補修

- ・断面修復工
- ・ひび割れ注入工

主桁・床版補修

- ・断面修復工
- ・増厚断面修復工(鉄筋がぶり不足部)
- ・ひび割れ注入工

平面図

補修工 凡例

ひび割れ注入工
断面修復工
増厚断面修復工

橋面

橋面下(主桁・床版)

断面図

橋面・排水補修

- ・床版防水工(橋面排水含む)
- ・水切り設置工

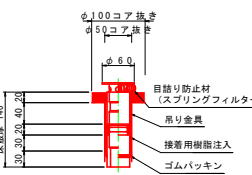
B部

水切り詳細図 S=1:5

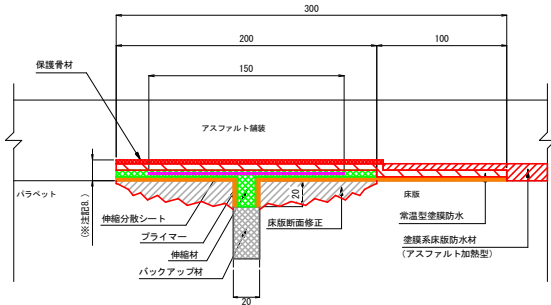
A部

床版水抜きパイプ詳細図 S=1:5

既設橋取付けタイプ



伸縮装置設置工詳細図

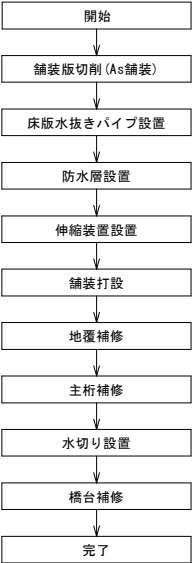


A2橋台(山麓線側)

橋台補修

- ・断面修復工

補修施工手順



注記
1. 図中の詳細寸法等は、施工時に現地調査を実施して確認すること。
穂高125号橋

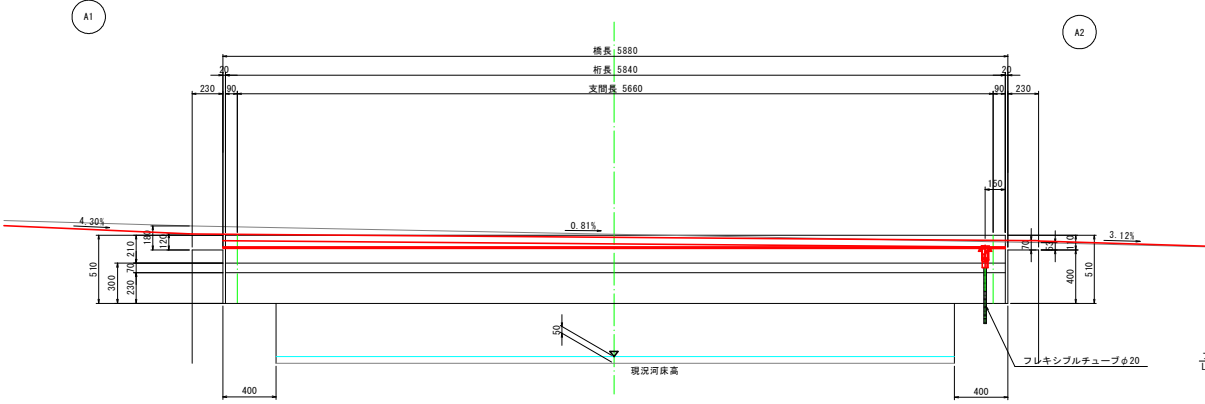
実施図

令和5年度 道路メンテナンス事業 穂高125号橋補修工事			
番号	1/9	補修工一般図	縮尺 図示
安曇野市 穂高有明			
市道穂高0401号線 穂高125号橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			

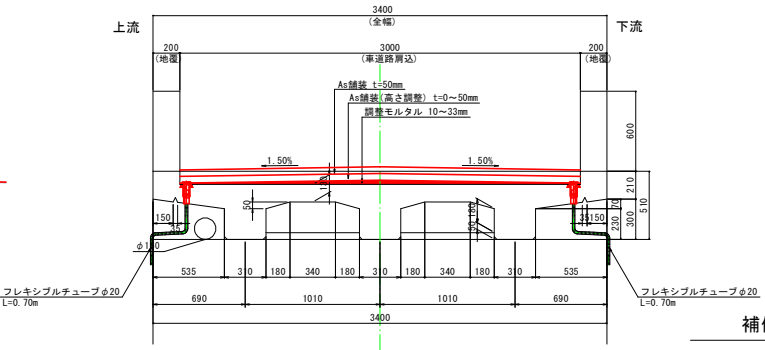
橋梁補修図その1(橋面) S=1:20

穂高125号橋

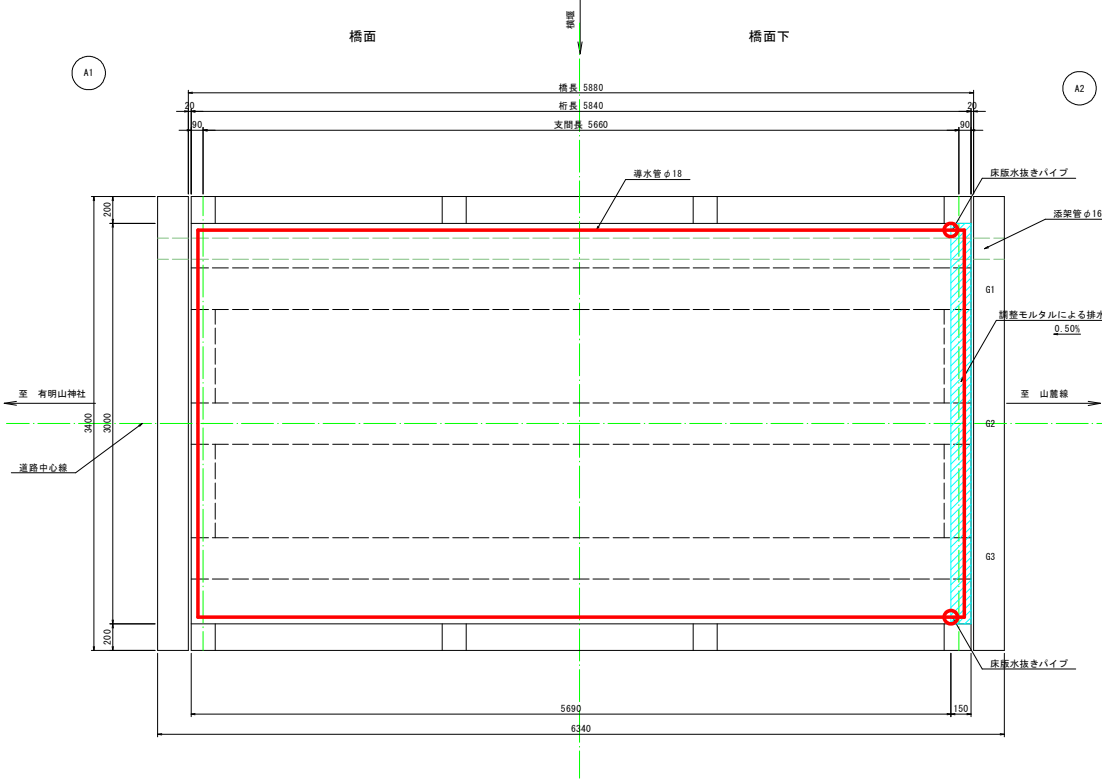
側面図



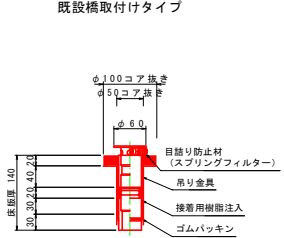
断面図



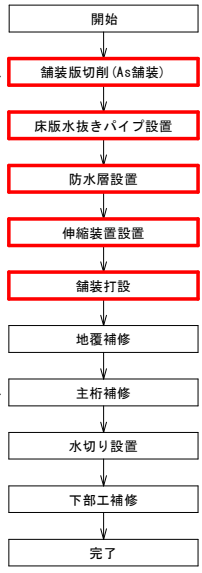
平面図



床版水抜きパイプ詳細図 S=1:5



補修施工手順



全面通行止め

橋面補修工数量表

工種	種別 - 細別	規格	単位	算式	数量
舗装版撤去	舗装版切削	アスファルト舗装 t=8.1cm (平均)	m ²	A= 3.00x (6.34 (パラベット天端含む) +2.00 (有明山神社側張り付け長) +2.00 (山麓側側張り付け長))	34.0
	掘削	砕石 t=10cm	m ³	V= 3.00x5.84x0.10	1.75
	廃材処理	アスファルト	m ³	V= 34.0x0.08	2.72
床版防水工	床版防水層	車道部 φ18	m	V= 3.00x5.84x0.10	1.75
	床版水抜きパイプ	既設橋取付タイプ	個	A=φ60x5.84	2
	コンクリート削孔	φ50mm L=80mm	穴		2
	成型目地材	b=50 t=5	m	L=5.84x2+3.00x2	17.7
	フレキシブルチューブ	SUS304 φ20 (ナット・ワッシャー付)	m	L=0.70x2	1.4
	スラブガード		m ³	V= 3.00x5.84x0.022	0.39
舗装工	橋面舗装	密粒度アスコン (20F) 改質Ⅱ型 (車道部) t=2.5cm (平均)	m ²	既設アスファルト舗装オーバーレイ範囲	17.5
		密粒度アスコン (20F) 改質Ⅱ型 (車道部) t=5cm	m ²	既設コンクリート舗装範囲	34.0

実施図

1) 図中の詳細図法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。

実施図

令和5年度 道路メンテナンス事業 穂高125号橋補修工事

巻号	2 / 9	補修箇所① (橋面)	図尺	図示
----	-------	------------	----	----

安曇野市 穂高有明

市道豊科0401号線 穂高125号橋

設計会社

測量会社

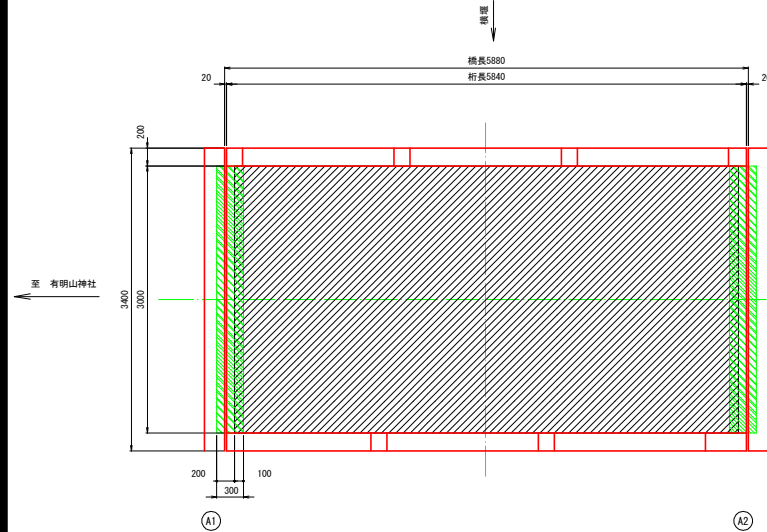
調査会社

安曇野市

橋梁補修図その2(伸縮装置)

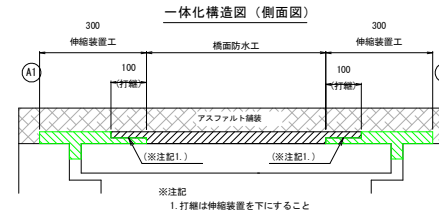
穂高125号橋

平面図 S=1:30



記号	名称	計算式	単位	数量
	伸縮装置工	3.00×3.00	m	6.00
	橋面防水工 (CAD計測)	-	m ²	16.98

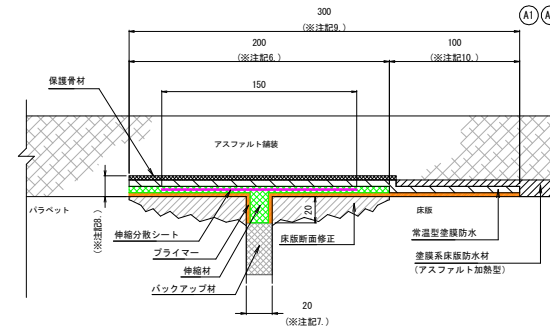
伸縮装置及び床版防水の一体化工法詳細図



一体化工法詳細

記号	名称	※ 注 記 ※
	伸縮装置工	伸縮材は常温型遮断防水と一体化する同系材料。 伸縮装置工の範囲 (W=300) は常温型遮断防水材を使用すること
	橋面防水工	橋面防水には、遮断系床版防水材 (アスファルト加熱型) 或いは、常温型遮断防水材のみ使用可能

伸縮装置工断面図



伸縮装置工材料表 <補修>

名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
伸縮材	主 剤: ゴムアスファルト乳剤 硬化剤: ウレタン樹脂化合物	kg	1.00	0.25%含む
プライマー	シリコン系化合物	kg	0.05	0.25%含む
伸縮分散シート	アスファルトメッシュシート	m	1.10	0.15%含む
バックアップ材	汎用ウレタンフォーム	m	0.15	0.15%含む
常温型遮断防水材	主 剤: ゴムアスファルト乳剤 硬化剤: ウレタン樹脂化合物	kg	0.45	0.25%含む
保護骨材	珪砂4号	kg	0.16	0.10%含む

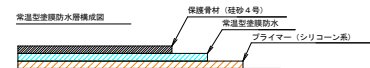
※伸縮材は常温型遮断防水と一体化する同系材料。
※常温型遮断防水材は伸縮装置と一体化する同系材料。
※バックアップ材は2mm/本を適宜切断して4mmの施工に使用する。

※注記

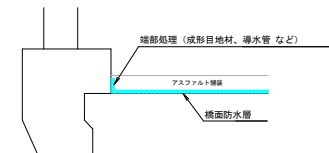
- 伸縮装置工の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと
- 伸縮性及び止水性を有する処理を目的とするため、伸縮性を確認できる材料を選択のこと
下記に参考仕様を示す
- 一体化 遮断防止水量が床版防水層と一体化した伸縮装置として機能すること
- 伸縮遮断性 土4mm繰り直して割断・破損がないこと 6000回
土10mm繰り直して割断・破損がないこと 15回
- 伸縮剤は、現場条件への対応性が良好ことから、ウレタン系ゴムアスファルト乳剤を選定している
- 伸縮剤との一体化のため、常温型遮断防水の材料にはウレタン系ゴムアスファルト乳剤を必ず使用すること
- 床版断面修正の適用範囲はw200、t=30mmまでとする
- 設置面 (W=200) の遮断両端のレベル差は0に不陸修正すること
- 既設遮断材が適用範囲外の場合は、適用範囲まで遮断材を撤去すること ※適用範囲: 20mm~10、+4mm
- 断面図の厚み(t)は視認性を保ち、正確な数値(t)を表さないことに注意すること
- W=300に使用する防水材は、常温型遮断系防水材を指定とする
- 打継は伸縮装置を下にすること。
打継部の常温型遮断防水の上面 (打継面) は保護骨材およびプライマーは塗布しないこと。

橋面防水工詳細図

名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
常温型遮断防水材	主 剤: ゴムアスファルト乳剤 硬化剤: ウレタン樹脂化合物	kg	1.50	0.25%含む
プライマー	シリコン系化合物	kg	0.18	0.20%含む
保護骨材	珪砂4号	kg	0.77	0.10%含む

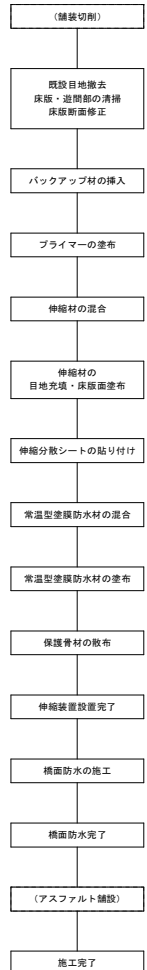


防水層端部処理



※注記
橋面防水層の端部処理は別途排水計画に基づき設計した排水資材を選定しその配置を定めること。

施工フロー図



※注記
1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。
穂高125号橋

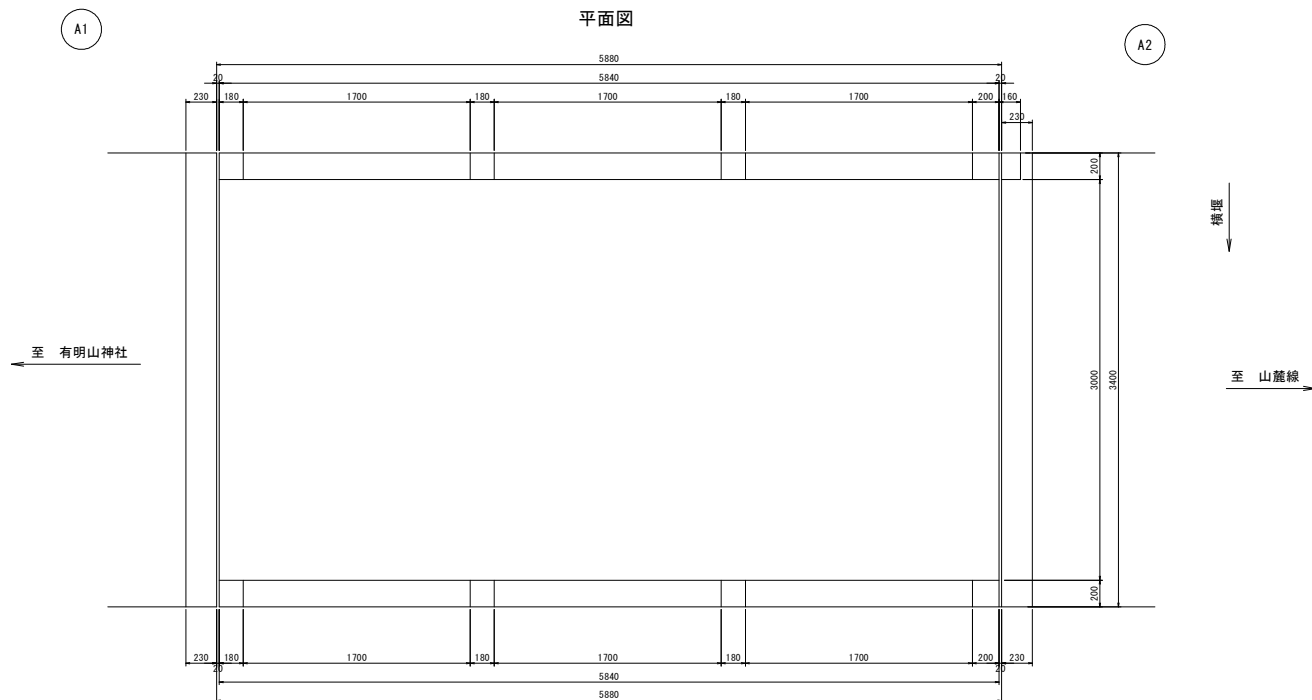
実施図

令和5年度 道路メンテナンス事業 穂高125号橋補修工事	番号	3/9	補修図その2 (伸縮装置)	縮尺	図 示
安曇野市 穂高有明	市道豊利0401号線	穂高125号橋	設計会社	測量会社	調査会社
安曇野市					

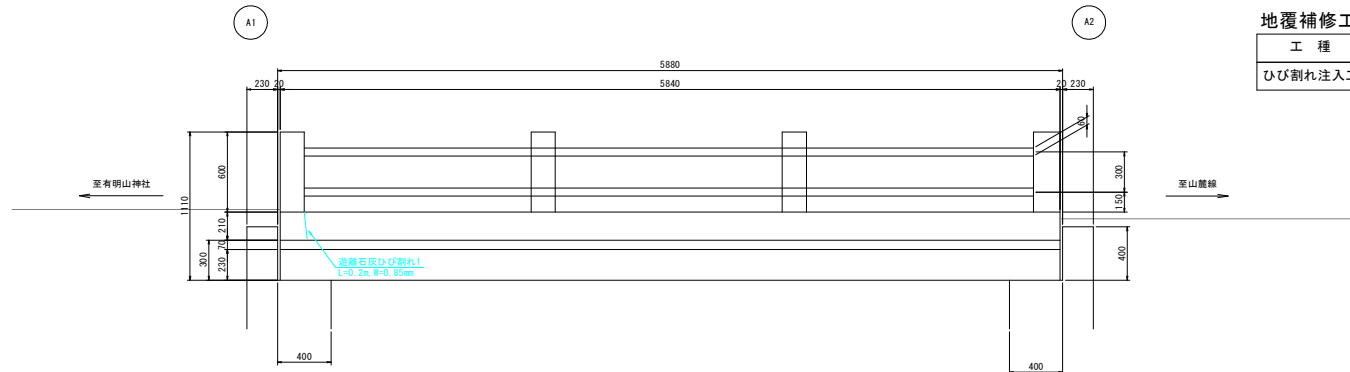
橋梁補修図その3(地覆側面) S=1:20

穂高125号橋

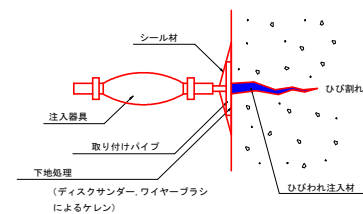
平面図



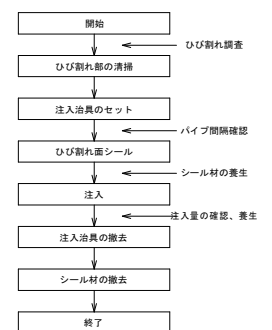
側面図



ひび割れ注入工法



ひび割れ注入工法の手順



ひびわれ注入エー寛
(0.2mm以上、1.0mm未満)

番号	長さ(m)
1	0.2
合計	0.2

地覆補修工数量表

工種	種別-細別	規格	単位	算式	数量
ひび割れ注入工	幅0.2mm~1.0mm未満	エポキシ樹脂	m	L=0.2	0.2

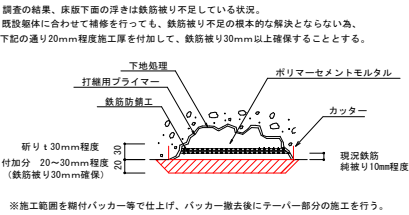
注記
1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。

実施図

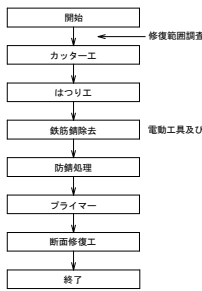
令和5年度 道路メンテナンス事業 穂高125号橋補修工事			
番号	4/9	補修図その3 (地覆側面)	縮尺 図示
安曇野市 穂高有明			
市道豊利0401号線 穂高125号橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			

橋梁補修図その4(橋面下) S=1:15
穂高125号橋

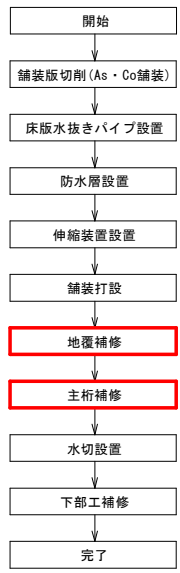
断面修復工(増厚)詳細図



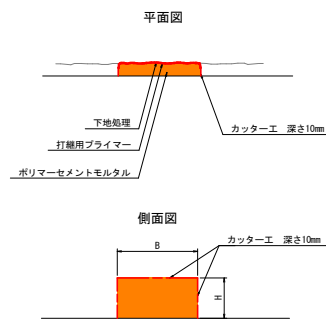
断面修復工の手順



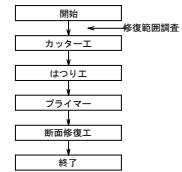
補修施工手順



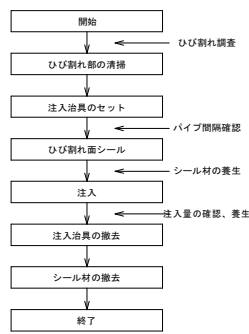
断面修復工詳細図



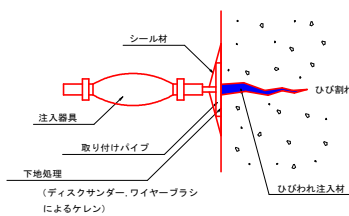
断面修復工の手順



ひび割れ注入工の手順



ひび割れ注入工



断面補修工一覧 t=30mm

箇所	B(mm)	L(mm)	面積(m ²)	カッター延長(m)
2	120	100	0.012	L=(0.32+0.14)x2=0.92m
	200	140	0.028	
3	300	40	0.012	L=(0.30+0.04)x2=0.68m
4	260	40	0.010	L=(0.26+0.04)x2=0.60m
5	100	360	0.036	L=(0.10+0.36)x2=0.92m
6	230	200	0.046	L=(0.23+0.38)x2+0.03x2=1.28m
	100	180	0.018	
7	80	200	0.016	L=(0.08+0.20)x2=0.56m
合計			0.178m ²	L=4.96m

断面補修工一覧 t=60mm

箇所	B(mm)	L(mm)	面積(m ²)	カッター延長(m)
1	320	260	0.083	L=(0.26x2+(0.32+0.06)x2=1.28m
8	270	600	0.162	L=(0.60x2+(0.27+0.06)x2=1.86m
合計			0.245m ²	L=3.14m

断面補修工(増厚)一覧 t=50(20+30)mm

箇所	B(mm)	L(mm)	面積(m ²)	カッター延長(m)
①	180	100	0.018	L=(0.18+0.10)x2=0.56m
②	180	680	0.122	L=(0.18+0.68)x2=1.72m
③	180	100	0.018	L=(0.18+0.10)x2=0.56m
④	140	5740	0.804	L=(0.14+5.74)x2=11.76m
合計			0.962m ²	L=14.60m

主桁・床版・横桁補修工-1 数量集計表

工 種	種別・細別	規 格	単 位	算 式	数 量
断面修復工	左官工法 (鉄筋ケレン・防錆処理を含む)	ポリマーセメント	m ³	V=0.178x0.03+0.245x0.06+0.962x0.05	0.068
	(カッター工)	深さ10mm	m	L=4.96x3.14+14.60	22.70
	(はつり工)	はつり深さ 30~60mm程度	m ³	V=0.178x0.03+0.245x0.06+0.962x0.03	0.049
	(鉄筋防錆工)	亜硝酸リチウム系	m ²	A=(0.178+0.245+0.962)x0.478	0.662
	(プライマー塗布)		m ²	A=0.178+0.245+0.962	1.385
ひび割れ注入工	幅0.2mm~1.0mm未満	エポキシ樹脂	m	L=0.1+0.4+0.4+0.5+0.5	1.9

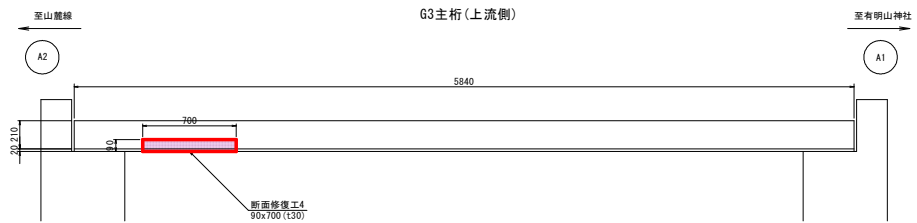
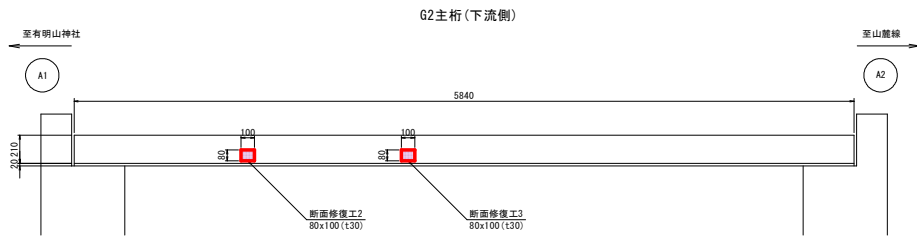
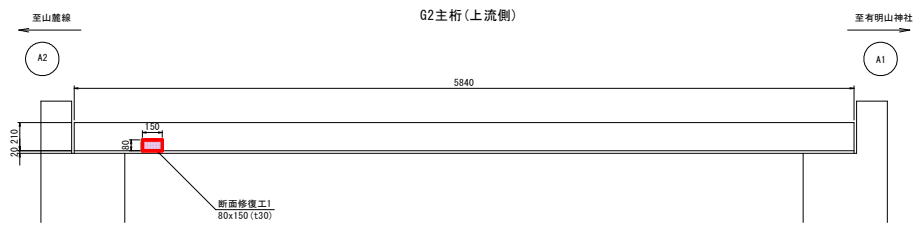
注記)
1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること
2. 鉄筋防錆工面積は単位面積当たりで換算して算出する。記号は、φ19縦棒250x250と仮定して、以下の通り算出した。
A=πx0.019x(1.00/0.25)x2=0.478m²/m²当たり

実施図

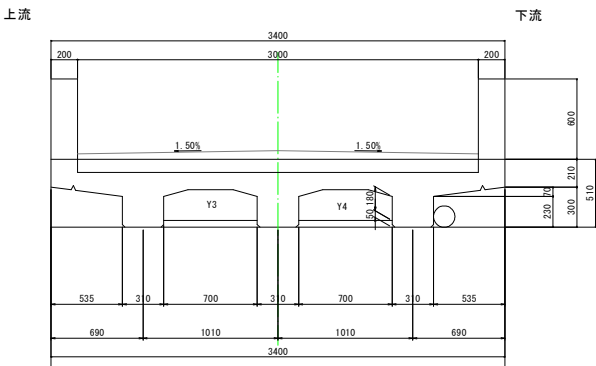
令和5年度 道路メンテナンス事業 穂高125号橋補修工事	5/9	補修図その4(橋面下)	図 示
安曇野市 穂高有明			
市道豊利0401号線 穂高125号橋			
設計会社		測量会社	
調査会社			
安曇野市			

橋梁補修図その5(主桁・横桁) S=1:20

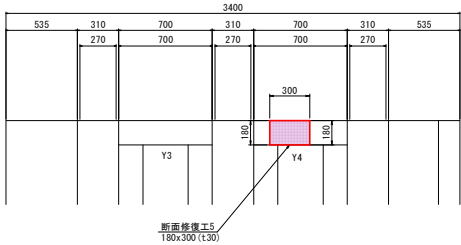
穂高125号橋



断面図(A2橋台側)



平面図



断面補修工一覧 t=30mm

箇所	B(mm)	L(mm)	面積(m ²)	カッター延長(m)
1	80	150	0.012	L=(0.08+0.15)x2=0.46m
2	80	100	0.008	L=(0.08+0.10)x2=0.36m
3	80	100	0.008	L=(0.08+0.10)x2=0.36m
4	90	700	0.063	L=(0.09+0.03+0.70)x2=1.64m
5	180	300	0.054	L=0.18x2=0.36m
合計			0.145m ²	L=3.18m

主桁・床版・横桁補修工-2 数量集計表

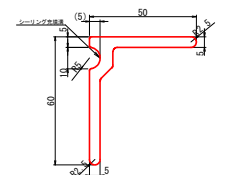
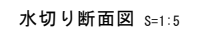
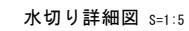
工種	種別・細別	規格	単位	算式	数量
断面修復工	左官工法 (鉄筋ケレン・防錆処理を含む)	ポリマーセメント	m ³	V=0.145x0.03	0.004
	(カッター工)	深さ10mm	m	L=3.18	3.18
	(はつり工)	はつり深さ 30mm程度	m ³	V=0.145x0.03	0.004
	(鉄筋防錆工)	亜硝酸リチウム系	m ²	A=0.145x0.478	0.069
	(プライマー塗布)		m ²	A=0.145	0.145

注記)
1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。
2. 鉄筋防錆工面積は単位面積当たりで換算して算出する。記号は、φ19縦横250x250と仮定して、以下の通り算出した。
A=πx0.019x(1.00/0.25)x2=0.478m²/m²当たり

実施図

令和5年度 道路メンテナンス事業 穂高125号橋補修工事			
番 号	6 / 9	補修図その5 (主桁・横桁)	縮尺 図 示
安曇野市 穂高有明			
市道豊利0401号線 穂高125号橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			

穂高125号橋



注記)
1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。

实施图

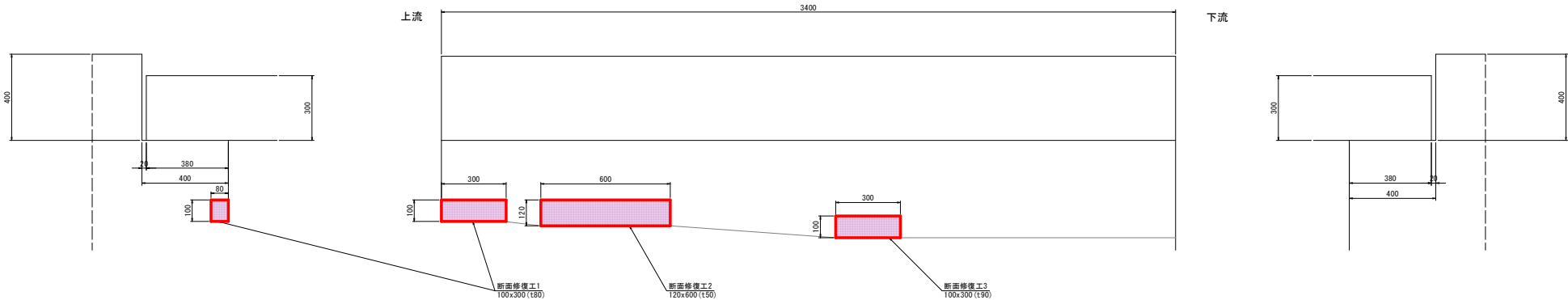
工 種	種別-細別	規 格	単位	算 式	数 量
水切り設置工	床版用後付け型	FRP水切りL型(L=1.5m/本)	m	L=5.84x2=11.68	11.

令和5年度 道路メンテナンス事業 穂高125号橋補修工事			
番号	7 / 9	補修箇所⑥ (床版張出部)	縮尺 図示
安曇野市 穂高有明			
市道豊科0401号線 穂高125号橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			

橋梁補修図その7(橋台) S=1:10

穂高125号橋

A2橋台(山麓線側)



断面補修一覧 t=50mm

箇所	B (mm)	L (mm)	面積 (m ²)	カッター延長 (m)
2	120	600	0.072	L=(0.12+0.60)x2=1.44m
合計			0.072m ²	L=1.44m

断面補修一覧 t=80mm

箇所	B (mm)	L (mm)	面積 (m ²)	カッター延長 (m)
1	100	300	0.030	L=(0.08+0.30+0.10)x2=0.96m
合計			0.030m ²	L=0.96m

断面補修一覧 t=90mm

箇所	B (mm)	L (mm)	面積 (m ²)	カッター延長 (m)
3	100	300	0.030	L=(0.10+0.30)x2=0.80m
合計			0.030m ²	L=0.80m

下部工 数量集計表

工 種	種別・細別	規 格	単 位	算 式	数 量
断面修復工	左官工法 (鉄筋ケレン・防錆処理を含まない)	ポリマーセメント	m ³	V=0.072x0.05+0.030x0.08+0.030x0.09	0.009
	(カッター工)	深さ10mm	m	L=1.44+0.96+0.80	3.20
	(はつり工)	はつり深さ 50~90mm程度	m ³	V=0.072x0.05+0.030x0.08+0.030x0.09	0.009
	(プライマー塗布)		m ²	A=0.072+0.030+0.030	0.132

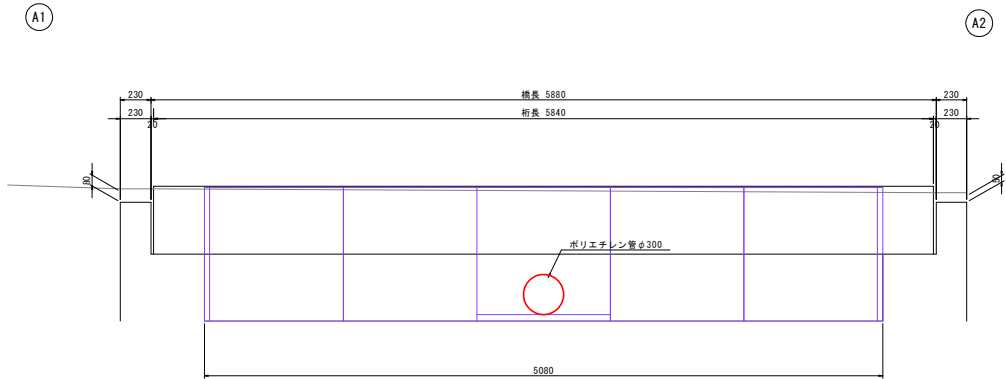
注記)
1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。

実施図

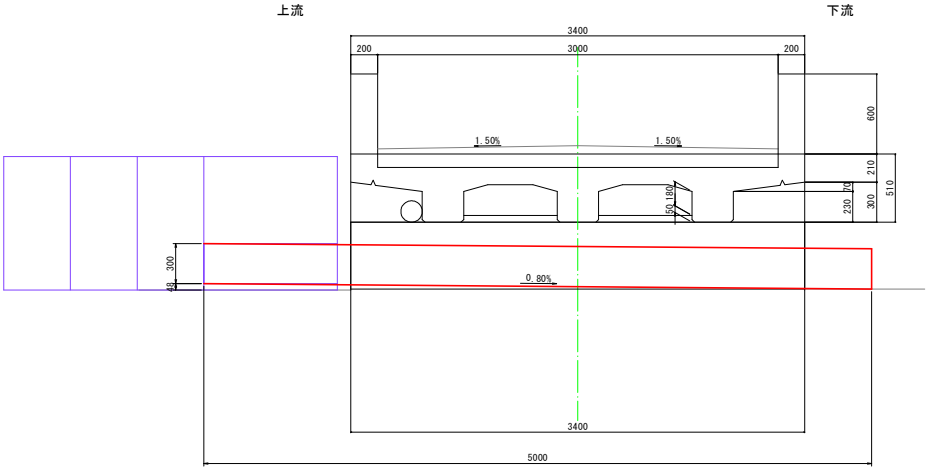
令和5年度 道路メンテナンス事業 穂高125号橋補修工事			
番 号	8 / 9	補修図その7 (橋台)	図 示
安曇野市 穂高有明			
市道豊科0401号線 穂高125号橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市			

仮設計画図 S=1:20
穂高125号橋

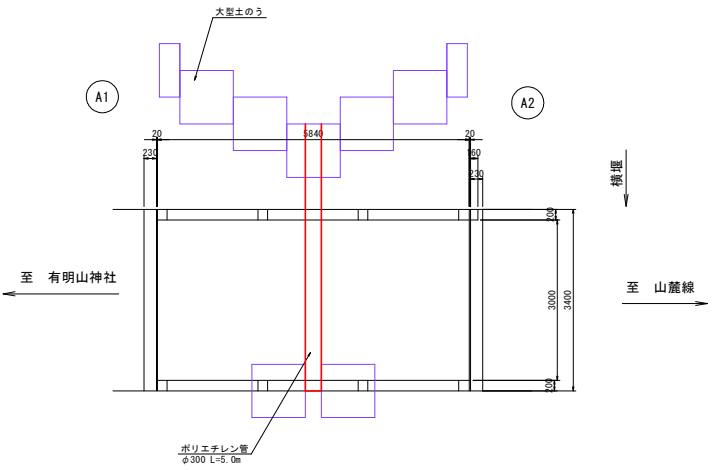
側面図



断面図



平面図 S=1:50



注記
1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を
実施して確認すること。

参考図

仮締切工 数量集計表

工 種	種別-細別	規 格	単 位	算 式	数 量
仮締切工	大型土のう		袋	N=9袋	9
	仮設排水管	ポリエチレン管 φ300	m	L=5.0m	5.0

令和5年度 道路メンテナンス事業 穂高125号橋補修工事			
番号	9 / 9	仮設計画図	縮尺 図示
安曇野市 穂高有明			
市道豊利0401号線 穂高125号橋			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市			